

平成24年度「えんちゅう通信」最終号になりました。  
今年度は



子どもたちは絵本大好きです。

絵本を読んでちらうこと大好きです。

今日は何の本を読んでくれるの?と楽しみに待つます。

先生たちも今日は何の本を読もうか?と楽しんで逛んでます

絵本を読つ先生のあと目をキラキラさせ集まつて来ます。

先生たちも、子どもが集まつくるのをゆだりと待つります。

そして静かにページめぐります。

先生の静かた声と子どもたちの急づかれが聞こえます。

絵本を読んでる先生の声も表情もゆだりとします。

みんなへう子どもたちもほんわかとします

至福の時間が流れでります。

1年前どんな絵本をどの位読みましたか?

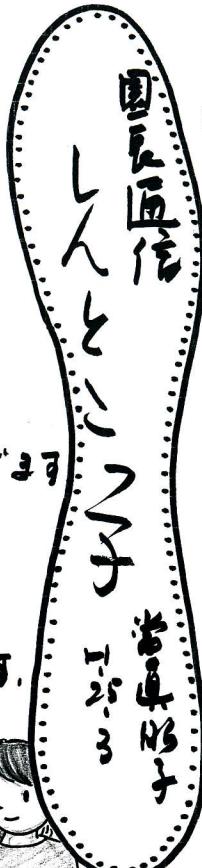
絵本を読むことを楽しめましたか?

図書館に行ったり本屋こんにに行く事も生活の中に  
加わりましたか?

読んであけ3人(読み手)が好き好きでたまらびり絵本と『  
そして、子どもがくりかえしまで読んで楽しめがる絵本が…』

身边に…なんせいたくな事でしょう

1人でも2人でも絵本大好き♪な人が増えたらうれしい事です。



むかしばなしもおもしろいよ!!

むかしむかし おじいさんとおばあさんがすんでいます。

それから? それから?

絵本ともちがう世界がここにあります。

父さんや母さん、おじいちゃん おばあちゃん、先生から  
かたうれしむきも! テレビのむかしばなしは一オクタに  
与えられよちので! 想像力をひかせう! 夢がまたく  
ありません。「首あきところに…」といえれば、画面に  
ちう山が出て、家が遠なり… さき手は何もしなくて  
いいのです。でも大好きな人が… さき手…  
「首あきところに…」とつけば子どもたちも  
「あるか? どこだらうな?」と考えたり、想像したり  
積極的にふきるの中に参加してくのです。そして分ら  
ない事に出合つと素朴に疑問を言語り手に投げかける  
事も出逢うのです。

はなさかじい、したさりすすめ、じもたう。  
さうかにかせん、からかう山 三枚のみかた  
やまんばのまも。こぶとりじい ふくやのせり  
おのつう女房 さき草すきん みどりがれんつ  
鳥方とやまんば 湯島太郎 一寸法師 etc  
(日本の宝物のおはなしおほんのひつまみ)  
とあれ年長の春がんかい者に言葉をしてあります。  
これは人間の素朴な愛の等とし、20代までは  
なじであります。絵本・本・おほん大好きなのが見附で、